

新しい境野公民館を紹介します

境野公民館 落成記念式典・祝賀会開催

3月24日、境野公民館落成記念式典と祝賀会が、町民や関係者ら約200人が出席し、盛大に開催されました。玄関前のテープカットで式典がスタート。中澤博之館長らのあいさつの後、工事関係者へ感謝状が贈られました。続く祝賀会では、講師の宝井琴柑さんが登場。境野公民館の歴史物語をリズムカルに語りました。また、境野地区の子どもたちによるダンス、リズム体操、境野福寿クラブの歌が披露されました。そのほか、落葉松会の皆さんによる紅白もちと手打ちそばが振る舞われるなど和やかな春の祝宴となりました。

改築が進められていた境野公民館が、3月24日にオープンしました。生まれ変わった境野公民館を紹介します。



玄関前で井上久男町長らがテープカット



張り扇を打ち、調子をとる講師の宝井琴柑さん



境野地区の小学生が踊る「よさこいソーラン」

3代目の境野公民館となる新しい公民館は、木造平屋建て、延べ498平方メートル。地区公民館としてコンパクトでありながら多用途な施設づくり、防災機能にも配慮しました。改築工事は、平成30年8月8日から平成31年3月11日まで実施され、備品購入費等を含め総額は約2億7,360万円。

建築材には町内で育ったカラマツやトドマツをふんだんに使い、使用した道内産材の112立方メートルのうち、町産材は45%を占めています。使用箇所は構造体のほか、内外装に羽目板材、集会室の壁面の一部に直交集成材（CLT）を使用し、木のぬくもりを感じるデザインとなっています。さらに防災の備えとして、太陽光発電・蓄電池を備え、携帯電話の充電やTVなどに活用でき、発電機を繋ぎこめば、電気が仮復旧するような外部配電盤を備えています。なお、旧施設の解体工事及び外構工事は平成31年度実施予定です。

40年間ありがとう！2代目境野公民館

境野地区子ども会は、祝賀会終了後、解体予定の旧公民館和室で「楽描き大会」を実施。絵や感謝の言葉を壁いっぱいに記しました。



壁面のデザインに町産カラマツ材直交集成板（CLT）を使用



ステージ下にも引き出し収納



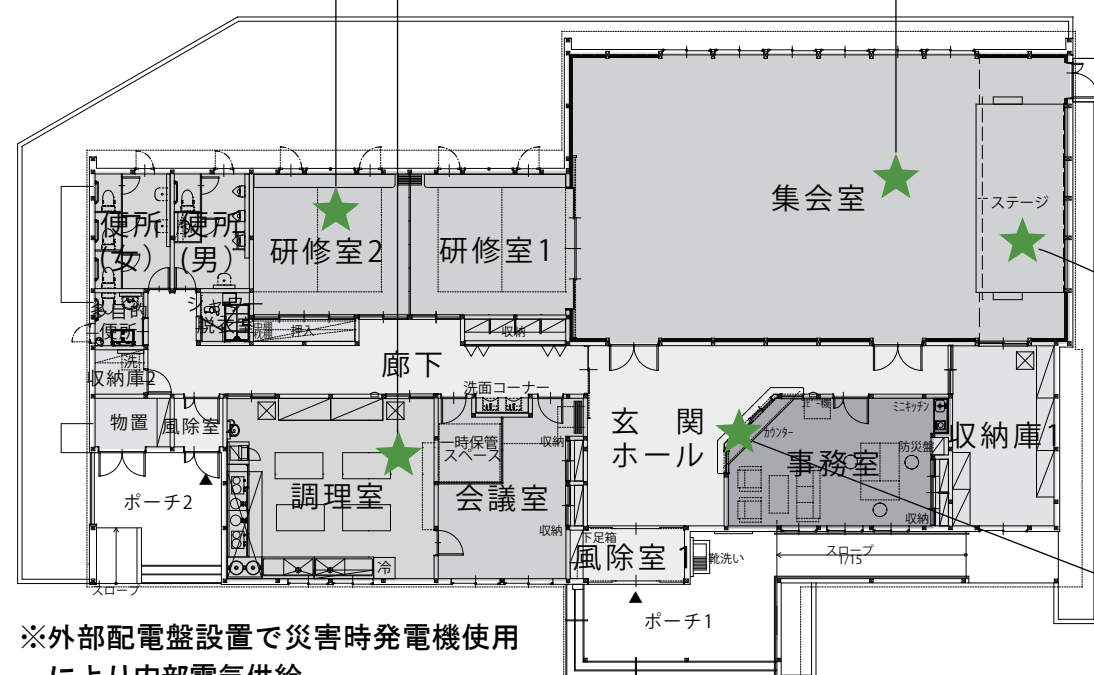
木材をふんだんに利用した館内、事務室前の広い受付窓口



可動間仕切りを設置、2室1間



サークル活動に活用できる調理室



※外部配電盤設置で災害時発電機使用により内部電気供給
※太陽光発電4.9kw＋蓄電池5.6kwh設置
※玄関・ホール、集会室に床暖房完備